

灰の水曜日礼拝

2026年2月18日

日本キリスト教団 南三鷹教会
司式 牧師 小田哲郎

前 奏
招 詞

傲慢な者らは偽りで私を汚しましたが
私は心を尽くし、あなたの諭しに従います。

(詩編 119 編 69 節)

序 詞 レントへの招き

代々の教会は、我らの主の苦難と復活とを記念するこの期節を、深い
献身の思いをこめて守ってきました。深い悔い改めと断食と祈りの時と
してこれを守り、イースターに備えることが教会のならわしとなったの
です。

信仰に導かれた者が、キリストの体なる教会に加えられるための洗礼
の準備の時として、同時に、信仰共同体から離れていた者たちが、悔い
改めと赦しを通して再び和解を与えられて教会の交わりへと回復される
時として、この 40 日間は大切にされてきました。

したがって全会衆は、イエス・キリストの福音が告げ知らせる神の慈
しみと赦しとを思い起こし、洗礼によってすでに与えられている信仰の
更新をしなければなりません。

そこで私は、御名によって、この聖なる四旬節（レント）へとあなた
がたを招きます。自らをかえりみ、悔い改めと祈りと断食と愛の献げ物
によって、この期節を守りましょう。神のみ言葉に親しみ、これを味わ
いつつ、切に祈りましょう。

キリエ
祈 禱

讃美歌 21-32

すべての人を愛し、悔い改める罪人を赦す永遠・全能の神さま。

私たちに罪を悔い改めさせ、完全な赦しを与えてください。

溢れるめぐみによって、私たちをあなたに忠実な新しい人間にしてくだ
さい。

あなたと聖霊と共にただひとりの神であり、永遠に生きて治められる御
子、主イエス・キリストによって祈ります。アーメン

(「特別の祈り (201 灰の水曜日)」『ルーテル教会式文』P.79)

聖 書

イザヤ書 58章1-8節 (旧約 P.1156)

マルコによる福音書 2章18-22節 (新約 P.18)

賛 美
説 教
祈 禱

讃美歌 21 296 「いのちのいのちよ」

「新しい命を生きる」小田哲郎牧師

灰の祈り
司 式

(昨年 of 棕櫚の葉を燃やして灰にする。)

皆さん、回心のしるしとしてわたしたちが額に受けるこの灰を、
主なる神が祝福してくださるよう、共に祈りましょう。

司 式	慈しみ深い神よ、あなたはへりくだって罪の償いを行う人を受け入れ、赦しを与えられます。私たちの祈りに耳を傾け、この灰を受けるあなたの民に祝福を注いでください。四旬節の務めに励み、清い心でイースターを迎え、御子の過ぎ越しの神秘を祝うことができますように。わたしたちの主イエス・キリストによって祈ります。
会 衆	アーメン
交 禱	
司 式	私たちは、信じることによって希望に満たされます。信仰は新しい始まりです。日々、わたしたちは新たに生まれるのです。
会 衆	日々、私たちは希望に満ちた命を取り戻します。
司 式	古い上着を脱ぎ去り、新たに前進するための新しい決断の機会が、日々与えられています。
会 衆	今このとき、私たちが新たにされたことを覚えて、私たちは新しい決断をします。
司 式	過去の束縛から自由にされていることを覚えて、私たちは新しい決断をします。
会 衆	今このときを十分に生き抜き、未来へと歩みだす自由が与えられています。
司 式	人間の理想や善意の結果としての未来ではなく、全てを赦し新しくする神ご自身の働きによる未来へと歩みだします。
会 衆	神よ、過去の束縛から自由になることのできない愚かな私たちを赦してください。あなたの助けによって私たちが新しい人になれることを信じさせてください。あなたの霊を迎え、古い上着を脱ぎ捨て、喜びと信仰の内にあなたが与えてくださる未来を迎えることができますように。
灰の祝福	主よ、この灰を祝福してください。この灰が、わたしたちにとって、罪と悔い改めと希望のしるしとなりますように。 (一人ずつ前に進み出、額に灰の十字架の印を受ける) あなたは地の塵から取られたから、土に帰ることを忘れてはならない。
賛 美	讃美歌 21 4 4 5 「ゆるしてください」
沈黙の時	しばらく沈黙のうちに神の声をききましょう。
主の祈り	
赦しの言葉	私たちの救いの源、慈しみに満ちた全能の神は、罪人の死を望まず、罪と悪から立ち返って生きることを望んでおられます。それゆえにあなた方の悔いる心を受け入れ、キリストの十字架の死と復活によって新しい命へと造りかえてくださいます。主によってあなた方の罪は赦されました。 アーメン
派 遣	讃美歌 21-8 9 共にいてください
派遣と祝福	
後 奏	